

方をしているから、すごく危ない事が起こっています。

5.資源・エネルギー

次は資源とエネルギーです。原子力発電所の施設の話ですが、日本でやっている一番いけないことは、原子力は安全です、という嘘をみんなで言っていることです。原子力は危険です。使わないで済むなら使いたくない。しかし、使わざるを得ない状況になっている。そして、ヨーロッパはもう使わないと言っていたけど、次々にどの政府も方針を変え始めた。これからどんどん世界中が原子力で動くようになります。その時に日本はもう安全だからというのは止めた方がいいです。危険だけど、使わなければいけないからと言った時に正しい対応ができます。

揚水発電の写真もお見せします。この辺は原子力であまった電気を夜中のうちに、全部水で上のダムにまで上げて、本当に電気を使わないといけない時に、下のダムに水を流して、水は別に増やさなくていいのですよ。一度貯めれば、上げたり下げたりするだけで。そういう工事をしています。

もうなくなってしまったのですが、20年前、石炭サイロで、日本も石炭じゃないと電気は作れないというので、慌てて作っていた時があります。この頃に、僕自身もいろいろな実験をやったものですから、紹介しました。これは、その中に入っている圧力計などで作って、計っている所です。僕自身は機械の先生ですが、土木とか建築とかエネルギーとかに興味があるので、実はずっとこういう実験をやり続けています。

六ヶ所村というのは、右上にある所です。地吹雪が吹いて、何も無い所です。たくさんクレーンが出ているでしょう。大体、総予算2兆円で、日本中の原子力の再処理をやるというのを造っている所です。そうすると、ほじくり方はこういうものですよ。すごいほじくり方をしています。

これは葛野川といいます。東京電力の物で、たぶん日本で2番目に大きいと思うけれども、大月の所と大菩薩峠の所にあるダムの間で上がり下がりして、それで揚水発電をやっています。こういうふうの上から見ると、ダムの上から下を見た所です。こういう感じのものをあれこれ造っています。

これが日本で最大の揚水発電所で神流川の発電所です。これはきちんと覚えておく方がいいです。日本航空の御巢鷹山にジャンボ機が20年前にぶつかったのが、御巢鷹山です。あそこから10キロちょっとだけ北に行った所に日本で最大の揚水発電所を造っています。神流川発電所です。この事業主は東京電力です。日本で大型のダム工事というのは、これでたぶんおしまいです。下の池と上の池があって、上の池は長野県です。下の池は群馬県です。その中に、空洞をほじくって、長さ216メートル、高さ52メートル、幅33メートルのでかい穴を掘って、発電機が全部で出力が280万キロワットというとんでもない工事をやっています。たぶん揚水発電でこんな大きな工事は日本ではもうおしまいです。

6.技術と公害

次は公害と技術です。公害を見ていると、その時々自然をいじめたり、人間の都合の良い事ばかりをやって、非常にいろいろな事が起こりますが、一番びっくりするのが、別子の銅山です。あそこは住友がものすごく真面目にやって、地球に穴を掘って、自分たちが採るだけ採った後は、完全な自然に戻してお返しするというのを徹底的にやったから、今行ってみると嘘みたいにきちんと直っています。別子の銅山ですね。それに引き換え、足尾の銅山はひどい。その係累では、日本の公害の原点ですけれども、これは本当にひどい。石見銀山はおもしろいので写真が何枚かあります。

渡良瀬の遊水池があって足尾銅山があって、日光があります。



写真 足尾銅山(1971年5月27日畑村撮影)